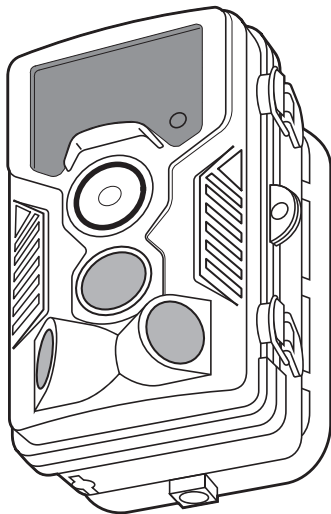


レンジャーカメラ

NX-RC800

取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。本製品は、防犯・監視や野生動物観察等を目的とした赤外線センサー搭載のカメラです。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。お読みになった後は、大切に保管していただき、その都度ご参照ください。

目次

安全上のご注意	3
---------------	---

ご使用前に

同梱品の確認	6
各部の名称と機能	7

準備する

1. 本体に乾電池を入れる	9
2. microSD カードの挿入	10
3. microSD カードのフォーマット	10
4. 日時を合わせる	12
5. microSD カードの上書き設定	14
6. 設置する	15
7. センサーの反応範囲を確認する	17
8. サイドセンサーの設定	18
9. センサー感度の設定	19
10. テスト撮影	20

撮る

1. ライブモードで動画を撮る	23
撮影モードの設定	23
ビデオ解像度の設定	24
録画時間の長さを設定	24
音声録音の設定	25
ショットラグの設定	25
動作時間帯の設定 (タイマー設定)	26
ライブモードで動画の撮影を開始する	27
2. ライブモードで静止画を撮る	28
撮影モードの設定	28
写真解像度の設定	29
連続撮影の設定	29
ショットラグの設定	30
動作時間帯の設定 (タイマー設定)	30
ライブモードで静止画の撮影を開始する	31
3. ライブモードで動画と静止画を撮る	32
撮影モードの設定	32
ライブモードで動画と静止画の撮影を開始する	33
4. タイムラプスで撮る	34
タイムラプスの設定	34
TL ビデオの解像度の設定	36
タイムラプス撮影を開始する	36
5. 保存容量の目安	37

見る

1. 本体で見る	38
撮影ファイルの編集	39
2. 外部モニターで見る	40
3. パソコンで見る (SD カード)	41
4. パソコンで見る (USB ケーブル)	43

その他の設定

言語の設定	44
タイムスタンプの設定	44
パスワードの設定	45
操作音の設定	46
シリアル番号の設定	46
バージョン情報	47
設定リセット	47

主な仕様	48
------------	----

保証規定 / 保証書	裏表紙
------------------	-----

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用する場合は、下記の内容をよく理解して記載事項をお守りください。



危険

この表示の欄を守らないと人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。



警告

この表示の欄を守らないと人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。



気をつけていただきたい内容です。



してはいけない内容です。



しなければならないことを表しています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、またはこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。



危険

使用環境・条件



引火、爆発の恐れがありますので、プロパンガス、ガスolinなどの可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。



車内など温度が上昇しやすい場所にカメラを放置しないでください。ケースや内部部品が破損し、火災の原因となります。



カメラは頑丈な場所に設置してください。落下や転倒してけがの原因となります。



警告



内部に水や異物が入った場合や、落したり、ケースを破損した場合、または異常な音が生じたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態になった場合は、そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



落下などにより破損した部品には直接触らないでください。けがの原因となります。



煙が出たら、すぐに電源を切り、電池を外し、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。



雷が鳴り出したら、安全のため電源を切り、乾電池を外してください。

安全上のご注意

⚠ 警告



本機は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



高温になる場所（火のそば、暖房機のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、けがの原因となります。



本機のケースは開けないでください。感電・けが・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



外部電源に AC アダプター等を接続しないでください。感電や火災の原因となります。



液晶モニターに衝撃や圧力を与えないでください。モニターのガラスが破損したり、液体が内部から漏れる可能性があります。目や皮膚に触れた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目に入った場合は直ちに医師に連絡してください。

⚠ 注意

使用環境・条件



直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。



ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



結露した場合は、自然乾燥させるか、長い時間同じ環境に置くなどして、結露がなくなってからご使用ください。



幼児の手の届かないところに保管してください。

使用方法について



長時間使用しないときは、電源を切り、電池を外してください。



お手入れの際は、電源を切り、電池を外してください。

防塵・防水性能について

- 防水性能は雨の中でも使用できる IP54 防塵・防水設計です。
- 高い水圧がかかることがあるため、水道などから勢いのある水を、直接あてないでください。
- 水温が冷たい場合は内部に結露が発生することがあります。ご注意ください。
- 落下などの強い衝撃を与えた場合は、防水性能を保証しません。
- 全ての状況において防水を保証するものではありません。

防水パッキンを点検する

- 防水パッキンにゴミ、砂粒、毛髪、ほこり、塩、糸くずなどが付着していないかを充分確認してください。それらが付着している場合は柔らかい布で必ず取り除いてください。
- 目に見えないゴミなどが付着していることもあるので、指先で触って点検してください。
- 防水パッキンを拭き取る際、布の繊維が残らないように気をつけてください。
- 防水パッキンにヒビ割れ、ゆがみ、つぶれ、ささくれ、キズ、砂かみなどがいないか確認してください。

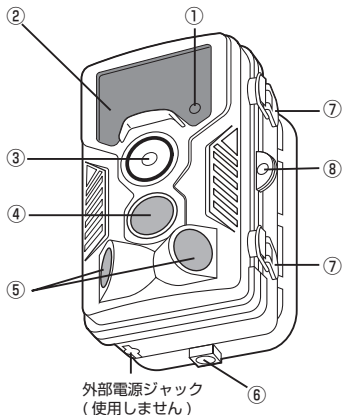
同梱品の確認

お買い上げいただいた製品は次の品目で構成されています。使用する前にご確認ください。万一、足りない場合や破損していた場合は、すぐに販売店または購入先までご連絡ください。

本体	1	AV ケーブル	1
microSDHC カード (8GB)	1	タッピングネジ	3
USB ケーブル	1	コンクリートアンカー	3
固定用ベルト (約 1.8 m).....	1	六角レンチ	1
固定用ブラケット	1	取扱説明書 (本冊子) 保証書付	1

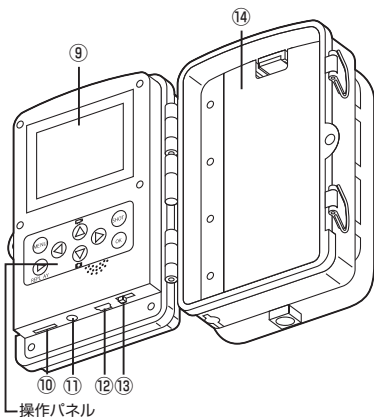
各部の名称と機能

● ケースを閉じた状態



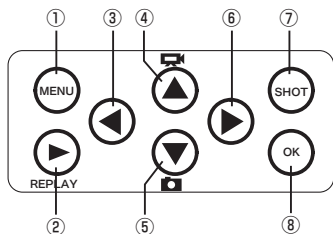
- ①動作確認 LED(赤/緑/青)
テストモードでフロントセンサーの反応範囲を確認できます。(緑点滅)
テストモードでサイドセンサーの反応範囲を確認できます。(青点滅)
電源を ON にすると撮影モードになるまで、赤で点滅します。(約 15 秒)
テスト撮影時、赤で点滅します。
- ②赤外線 LED(46 個)
夜間になると自動的に ON になり赤外線撮影を行います。
- ③カメラレンズ
- ④フロントセンサー
- ⑤サイドセンサー
- ⑥ブラケット取付穴
- ⑦バックル
- ⑧鍵取り付け用穴

● ケースを開いた状態



- ⑨液晶ディスプレイ
- ⑩ microSD カードスロット
最大 32GB まで使用可能
- ⑪ビデオ出力端子
付属の AV ケーブルを接続して外部モニターで再生できます。
- ⑫ miniUSB 端子
付属の USB ケーブルを接続してパソコンで再生します。
- ⑬電源スイッチ (OFF-TEST-ON : ライブモード)
- ⑭電池蓋

● 操作パネル

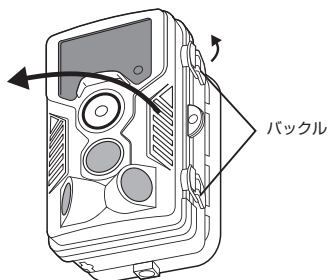


- ①メニューボタン (MENU)
テストモード時に押すとメニュー画面が表示されます。
- ②再生モードボタン (REPLAY)
テストモード時に押すと再生モードになります。
- ③◀ボタン
設定項目 / 設定内容の選択。
- ④▲ボタン
テストモード時、動画モード設定。
設定項目 / 設定内容の選択。
- ⑤▼ボタン
テストモード時、静止画モード設定。
設定項目 / 設定内容の選択。
- ⑥▶ボタン
設定項目 / 設定内容の選択。
- ⑦手動撮影ボタン
テストモード時ボタンを押すと撮影できます。
- ⑧確定ボタン (OK)
再生の開始 / 停止。設定時の確定をします。

準備する

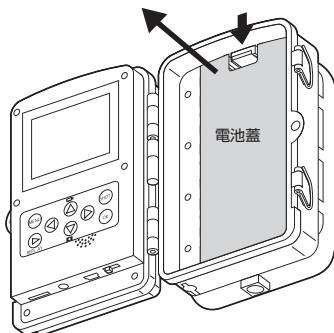
1. 本体に乾電池を入れる

1. カメラ側面のバックルを外し、ケースを開きます

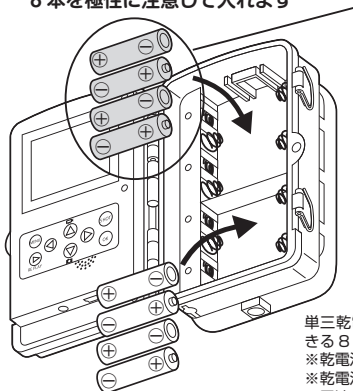


2. 電池蓋を外します

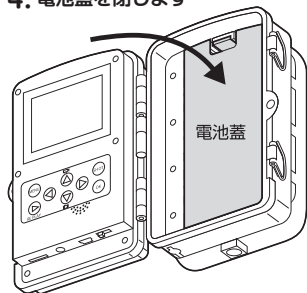
フックを押しながら外します。



3. 単三乾電池を4本、または8本を極性に注意して入れます



4. 電池蓋を閉じます



単三乾電池は上部に4本でも動作しますが、長時間運用できる8本の装着をお薦めします。

※乾電池は付属しておりません。別途、ご用意ください。

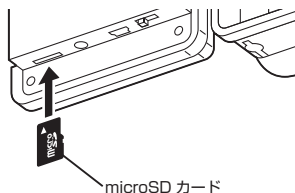
※乾電池は同時期に購入した新品電池を使用してください。

※電池交換する場合は長時間、電池を抜いた状態にすると日時がリセットされますので、早めの交換をしてください。

準備する

2.microSD カードの挿入

- 付属の microSDHC カードを本体の装着部に向きを注意して“カチッ”と音がするまで挿入します。またカードを抜く場合にも同様に“カチッ”と音がするまで押してから引き抜いてください。



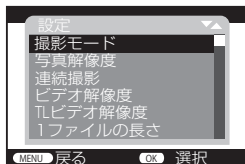
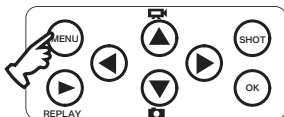
3.microSD カードのフォーマット

- 新しい SD カードを使用するときや他の機器で使用した SD カードを使用する場合、必ずフォーマットをしてください。フォーマットをすると保存されているデータはすべて消去されますので、必要なデータはバックアップしてください。

1. 電源スイッチを“TEST”の位置に合わせてテストモードにする

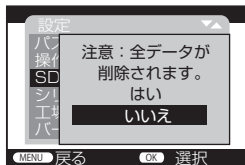
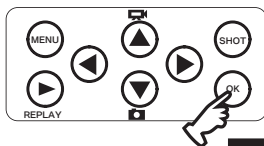
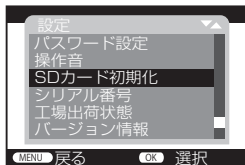
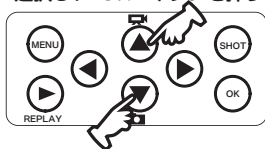


2. 操作パネルの“MENU”を押して設定メニューを表示させる



設定メニュー

3. “▲” “▼” ボタンで「SDカード初期化」を選択し、“OK” ボタンを押す



※フォーマット画面が表示されます。

4. “▲” “▼” ボタンで「はい」を選択し、“OK” ボタンを押す

※“お待ちください”が表示され、消えればフォーマット完了です。

5. “MENU” ボタンを押して終了する

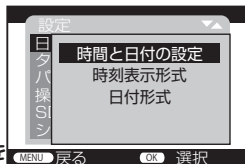
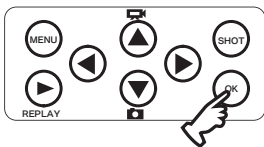
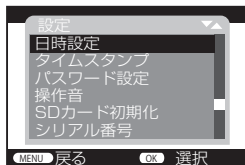
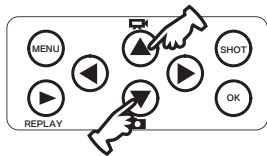
※ SD カードは定期的にフォーマットを行ってください。フォーマットをしないと、正常に記録ができなくなる場合があります。

準備する

4. 日時を合わせる

●フォーマットと同様にテストモードで設定メニューを表示させます。

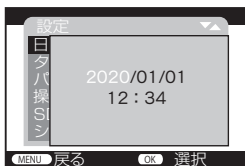
1. “▲” “▼” ボタンで「日時設定」を選択し、“OK” ボタンを押す



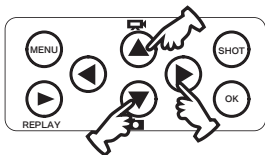
※時間と日付の設定画面が表示されます。

2. “▲” “▼” ボタンで「時間と日付の設定」を選択し、“OK” ボタンを押す

※日時設定画面になります。



3. 年を“▲”“▼”ボタンで合わせたら、“▶”ボタンで項目を移動させる



※初期設定では日付形式は「年／月／日」になっています。

4. 同様に月、日、時刻を設定し、最後に“OK”ボタンを押し設定を確認させる

※時刻表示形式は [24 時間制 (初期設定)] [12 時間制] を選択できます。

※日付形式は [日／月／年] [年／月／日 (初期設定)] [月／日／年] を選択できます。

5. “MENU” ボタンを押して終了する

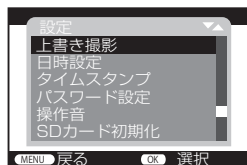
5. microSD カードの上書き設定

microSD カードの容量がいっぱいになった時、上書きする設定。必要に応じて設定を行ってください。初期設定は“オフ”です。

●フォーマットと同様にテストモードで設定メニューを表示させます。

1. “▲” “▼” ボタンで「上書き撮影」を選択し、“OK” ボタンを押す

※設定画面が表示されます。



2. “▲” “▼” ボタンで「オン」を選択し、“OK” ボタンを押す

3. “MENU” ボタンを押して終了する

ご注意：使用開始後に撮影モードや解像度などの設定を変更した場合は、SD カードをフォーマットしてから「上書き撮影」設定を行わないと正しく動作しない場合があります。

6. 設置する

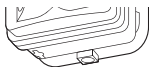
※正式に取り付ける前に仮止め、仮設置をし基本動作が正常にできることを確認してください。

ブラケットで固定

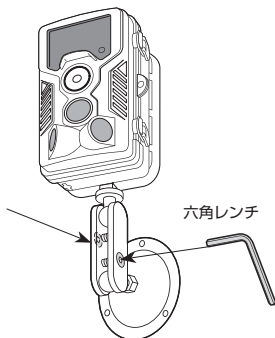
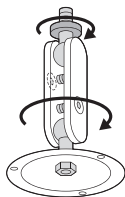
ご注意ください！

※壁面に設置する場合は十分な強度が必要です。

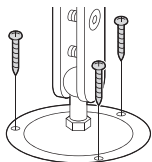
1. 本体のブラケット取付穴に
ブラケットを固定します



2. 六角レンチで角度を調節し、
しっかりと固定します。

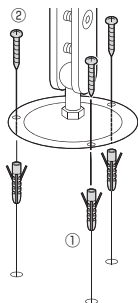


- 木部の壁に固定する場合
付属のタッピングネジで固定します。



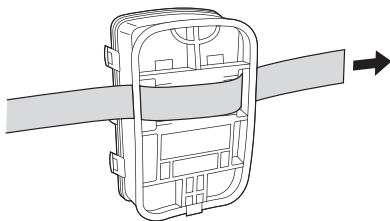
- コンクリート部に固定する場合

- ①タッピングネジを
取り付ける位置に
下穴 (φ 6 mm 深
さ 30 mm) を空
け、付属のコンク
リートアンカーを
差し込みます。
- ②付属のタッピング
ネジで固定します。

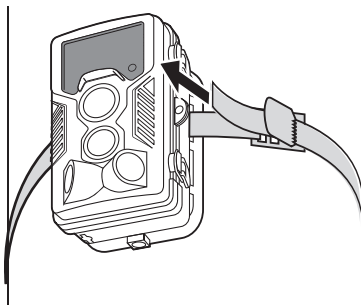


ベルトで固定

1. 本体の背面に固定ベルトを通します



2. ベルトを木や柱に巻きつけずれないようにクリップで固定します



設置場所の注意！

本製品は PIR センサーを使用しており、赤外線温度変化を検出することで動作する仕組みになっています。このため、検出対象の環境温度が極端に高い場合は温度変化を検出しづらくなります。設置の際は、極端な環境温度のない場所に取り付けしてください。

7. センサーの反応範囲を確認する

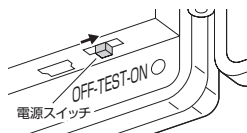
テストモードでセンサーが検出できる最適の距離や角度、設置場所などを決めます。例えば、設置場所 1～2m の高さで撮影対象物の角度を調節します。対象のエリアからゆっくり動かしてみたり、並行に動かしてみたり、異なる角度や距離を設定したり試すことができます。

前面の緑と青のLED はセンサーが反応したときに点滅しますので、カメラを設置する最適な場所を決めることができます。このLED はテストモードでのみ点滅し、ライブモード（自動撮影モード）では点滅しません。

誤動作で不要な撮影をしないように、カメラは直射日光を避け、センサーの検出範囲に木の枝などがいないように確認してください。センサーの検出範囲はサイドセンサーを使用すると約 120 度になります。

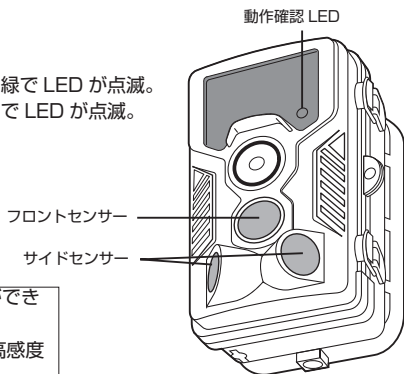
カメラの高さにも注意してください。場合によってはカメラの取り付け位置を下げ角度調節を行ってください。

1. 電源スイッチを“TEST”の位置に合わせ テストモードにする



2. カメラの前で動いて反応範囲を確認する

- フロントセンサーが反応すると緑でLED が点滅。
- サイドセンサーが反応すると青でLED が点滅。



※センサー感度は変更することができます。
低感度 / 中感度 (初期設定) / 高感度

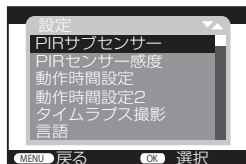
8. サイドセンサーの設定

本製品はフロントセンサーとサイドセンサーが内蔵されています。センサー範囲を広くする場合はサイドセンサーをオンにしてください。初期設定は“オン”です。

●フォーマットと同様にテストモードで設定メニューを表示させます。

1. “▲” “▼” ボタンで「PIRサブセンサー」を選択し、“OK” ボタンを押す

※設定画面が表示されます。



2. “▲” “▼” ボタンで「オン」を選択し、“OK” ボタンを押す

3. “MENU” ボタンを押して終了する

※サイドセンサーを使用すると、検出角度が広がるため、人感センサーの検出範囲が左右に広がります。頻繁にサイドセンサーが反応して無駄な撮影をするような場合はPIRサブセンサーをオフにすることをおすすめします。

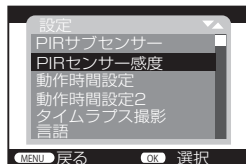
9. センサー感度の設定

センサー感度の設定をします。初期設定は“中感度”です。

- フォーマットと同様にテストモードで設定メニューを表示させます。

1. “▲” “▼” ボタンで「PIRセンサー感度」を選択し、“OK” ボタンを押す

※設定画面が表示されます。



2. “▲” “▼” ボタンで選択し、“OK” ボタンを押す

3. “MENU” ボタンを押して終了する

※センサーの感度は使用する環境によって3段階に設定できます。室内で使用する場合は環境による影響が少ないため、感度を高く、屋外で使用する場合は感度を低くすることで不必要な撮影を減らすことができます。また、センサーは高温よりも低温で検出が敏感になりますので、温度の高い時は高感度設定、温度の低い時は低感度設定が適しています。

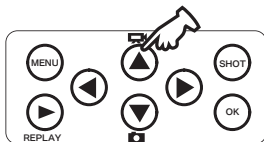
10. テスト撮影

動画モード

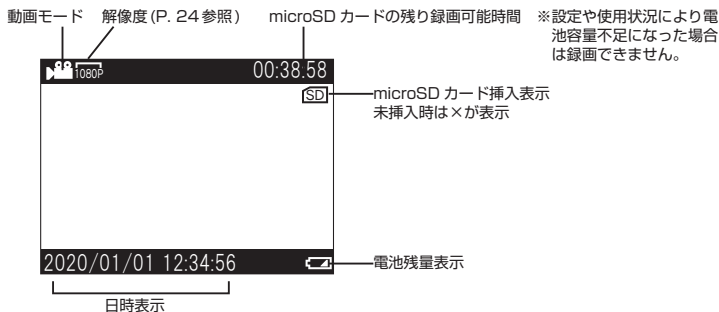
1. 電源スイッチを“TEST”の位置に合わせ
テストモードにする



2. 操作パネルの“▲”を押して動画モードにします

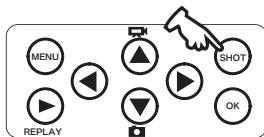


※動画モード画面が表示されます。



3. 操作パネルの“SHOT”を押すと撮影を開始します

- ※撮影開始まで少しタイムラグがあります。
- ※撮影中は録画マークが赤く点滅し、記録時間をカウントします。前面の動作確認 LED も赤で点滅します。



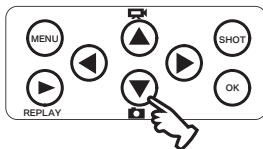
4.1 ファイルの長さの時間で撮影が終了します

- ※初期設定は10秒です。
- ※“SHOT”ボタンを押しても撮影を終了できます。

静止画モード

1. 動画モードと同様にテストモードにする

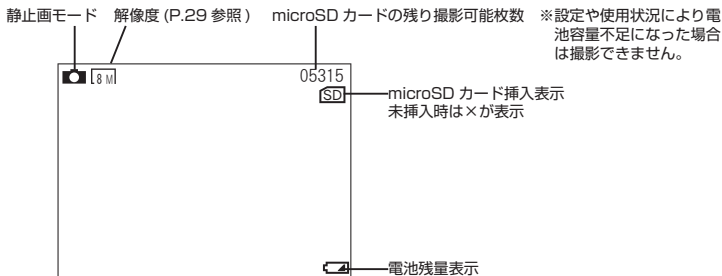
2. 操作パネルの“▼”を押して静止画モードに
します



※静止画モード画面が表示されます。

3. 操作パネルの“SHOT”を押すと静止画を
1枚撮影します

※撮影開始まで少しタイムラグがあります。
前面の撮影モード確認 LED が赤で点滅しま
す。



再生

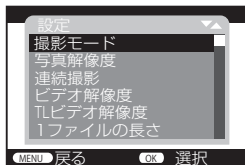
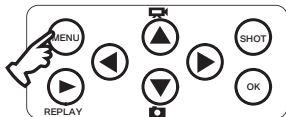
テスト撮影の再生は P. 38 「見る」を参照してください。

1. ライブモードで動画を撮る

1. 電源スイッチを“TEST”の位置に合わせてテストモードにする



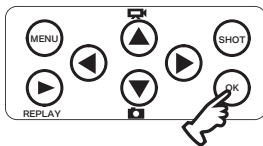
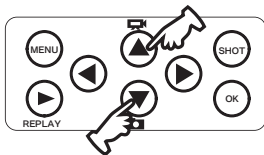
2. 操作パネルの“MENU”を押して設定メニューを表示させる



設定メニュー

[撮影モードの設定]

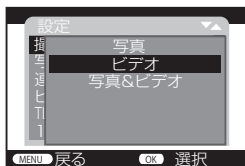
1. “▲” “▼” ボタンで「撮影モード」を選択し、“OK” ボタンを押す



※撮影モード選択画面が表示されます。

2. “▲” “▼” ボタンで「ビデオ」を選択し、“OK” ボタンを押す

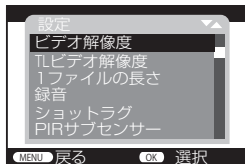
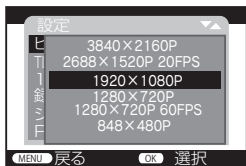
※初期設定は“写真”です。



[ビデオ解像度の設定]

1. “▲” “▼” ボタンで「ビデオ解像度」を選択し、“OK” ボタンを押す

※解像度選択画面が表示されます。



2. “▲” “▼” ボタンで解像度を選択し、“OK” ボタンを押す

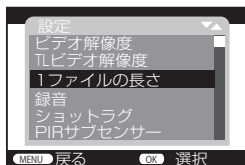
※初期設定は“1920 × 1080P”です。

[録画時間の長さを設定]

1 回に撮影される録画時間の長さを設定します。

1. “▲” “▼” ボタンで「1 ファイルの長さ」を選択し、“OK” ボタンを押す

※録画時間設定画面が表示されます。



2. “▲” “▼” ボタンで時間を設定し、“OK” ボタンを押す

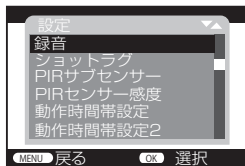
※ 3 秒～ 59 秒、1 分から 10 分を設定できます。

初期設定は 10 秒です。

[音声録音の設定]

1. “▲” “▼” ボタンで「録音」を選択し、“OK” ボタンを押す

※録音設定画面が表示されます。



2. “▲” “▼” ボタンで「オン」を選択し、“OK” ボタンを押す

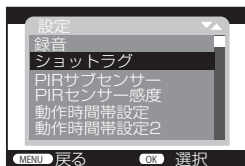
※初期設定は「オン」です。

[ショットラグの設定]

ショットラグは1回の撮影が終わってから次の撮影ができるまでの待機時間です。

1. “▲” “▼” ボタンで「ショットラグ」を選択し、“OK” ボタンを押す

※設定画面が表示されます。



2. “▲” “▼” ボタンで時間を設定し、“OK” ボタンを押す

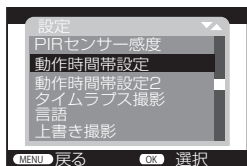
※5秒～59秒、1分から60分を設定できます。

初期設定は5秒です。

[動作時間帯の設定 (タイマー設定)]

この設定を ON にするとカメラを動作させる時間を設定することができます。設定時間帯以外はセンサーが検出しても撮影はしません。不必要な撮影を減らすことができ、電池の消耗も軽減できます。初期設定は「オフ」です。

1. “▲” “▼” ボタンで「動作時間帯設定」を選択し、“OK” ボタンを押す



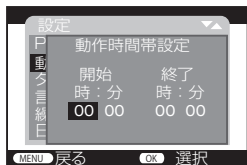
※設定画面が表示されます。

※動作時間帯の設定を解除する時は「オフ」にして「OK」ボタンを押してください。

2. “▲” “▼” ボタンで「オン、オフ」を設定し、“OK” ボタンを押す

※初期設定は「オフ」です。

3. 「オン」で「OK」ボタンを押すと動作時間帯設定画面が表示されます



“▲” “▼” ボタンで開始の「時」を設定します。「時」の設定が終わったら“▶”ボタンで「分」に移動し、“▲” “▼” ボタンで設定します。同様に終了時間を設定してください。日付をまたぐ設定も可能です。

4. 開始 / 終了時間を設定し、“OK” ボタンを押す

※「動作時間帯設定 2」を設定すると 24 時間サイクルの間で 2 回動作させることができます。

ライブモードで動画の撮影を開始する

1. 電源スイッチを“ON”の位置に合わせる



2. 約 15 秒のカウントダウン後に画面が消え撮影モードに入ります

※前面の撮影モード確認 LED も赤で約 15 秒点滅します。

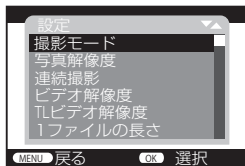
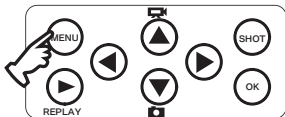
3. ケースを閉じます

2. ライブモードで静止画を撮る

1. 電源スイッチを“TEST”の位置に合わせてテストモードにする



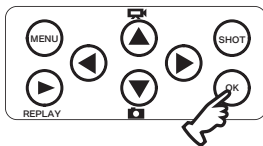
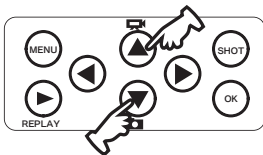
2. 操作パネルの“MENU”を押して設定メニューを表示させる



設定メニュー

[撮影モードの設定]

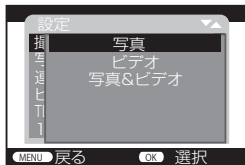
1. “▲” “▼” ボタンで「撮影モード」を選択し、“OK” ボタンを押す



※撮影モード選択画面が表示されます。

2. “▲” “▼” ボタンで「写真」を選択し、“OK” ボタンを押す

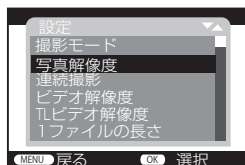
※初期設定は“写真”です。



[写真解像度の設定]

1. “▲” “▼” ボタンで「写真解像度」を選択し、“OK” ボタンを押す

※解像度選択画面が表示されます。



2. “▲” “▼” ボタンで解像度を選択し、“OK” ボタンを押す

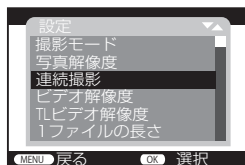
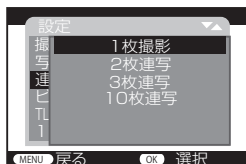
※初期設定は“8MP(3264 × 2448P)”です。

[連続撮影の設定]

センサーが待機状態にならずに連続して静止画を撮影する設定。

1. “▲” “▼” ボタンで「連続撮影」を選択し、“OK” ボタンを押す

※設定画面が表示されます。



2. “▲” “▼” ボタンで設定し、“OK” ボタンを押す

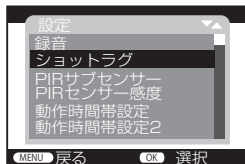
※初期設定は“1枚撮影”です。

[ショットラグの設定]

ショットラグは 1 回の撮影が終わってから次の撮影ができるまでの待機時間です。

1. “▲” “▼” ボタンで「ショットラグ」を選択し、“OK” ボタンを押す

※設定画面が表示されます。



2. “▲” “▼” ボタンで時間を設定し、“OK” ボタンを押す

※ 5 秒～ 59 秒、1 分から 60 分を設定できます。

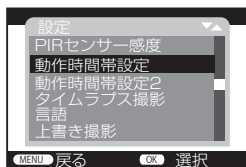
初期設定は 5 秒です。

[動作時間帯の設定 (タイマー設定)]

この設定を ON にするとカメラを動作させる時間を設定することができます。

設定時間帯以外はセンサーが検出しても撮影はしません。不必要な撮影を減らすことができ、電池の消耗も軽減できます。初期設定は“オフ”です。

1. “▲” “▼” ボタンで「動作時間帯設定」を選択し、“OK” ボタンを押す



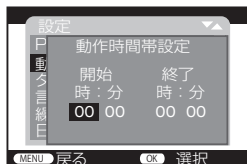
※設定画面が表示されます。

※動作時間帯の設定を解除する時は「オフ」にして“OK” ボタンを押してください。

2. “▲” “▼” ボタンで「オン、オフ」を設定し、“OK” ボタンを押す

※初期設定は“オフ”です。

3. 「オン」で“OK” ボタンを押すと動作時間帯設定画面が表示されます



“▲” “▼” ボタンで開始の「時」を設定します。「時」の設定が終わったら“▶” ボタンで「分」に移動し、“▲” “▼” ボタンで設定します。同様に終了時間を設定してください。日付をまたぐ設定も可能です。

4. 開始 / 終了時間を設定し、“OK” ボタンを押す

※「動作時間帯設定 2」を設定すると 24 時間サイクルの間で 2 回動作させることができます。

ライブモードで静止画の撮影を開始する

1. 電源スイッチを“ON”の位置に合わせる



2. 約 15 秒のカウントダウン後に画面が消え撮影モードに入ります

※前面の撮影モード確認 LED も赤で約 15 秒点滅します。

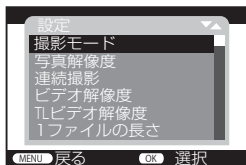
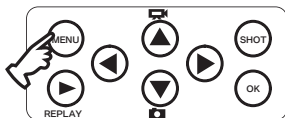
3. ケースを閉じます

3. ライブモードで動画と静止画を撮る

1. 電源スイッチを“TEST”の位置に合わせ
テストモードにする



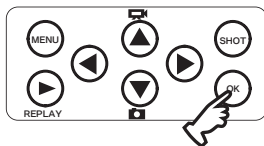
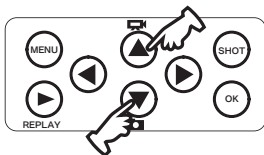
2. 操作パネルの“MENU”を押して設定メニュー
を表示させる



設定メニュー

[撮影モードの設定]

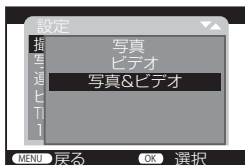
1. “▲” “▼” ボタンで「撮影モード」を選択し、“OK” ボタンを押す



※撮影モード選択画面が表示されます。

2. “▲” “▼” ボタンで「写真&ビデオ」を
選択し、“OK” ボタンを押す

※初期設定は“写真”です。



[動画の設定 / 静止画の設定]

その他の設定は「動画を撮る / 静止画を撮る」の設定と同様に行ってください。

ライブモードで動画と静止画の撮影を開始する

1. 電源スイッチを“ON”の位置に合わせる



2. 約 15 秒のカウントダウン後に画面が消え撮影モードに入ります

※前面の撮影モード確認 LED も赤で約 15 秒点滅します。

3. ケースを閉じます

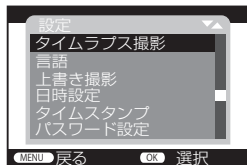
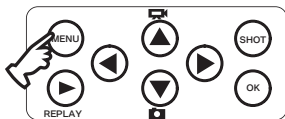
4. タイムラプスで撮る

タイムラプス機能を ON にすると、センサーの検出とは無関係に設定した間隔で写真や動画撮影を行います。冷血動物や植物観察などセンサーが動作しにくい対象で有効な機能です。24 時間以内の撮影間隔が設定できます。

1. 電源スイッチを“TEST”の位置に合わせ
テストモードにする

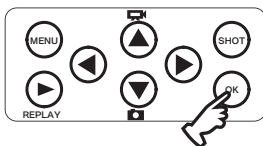
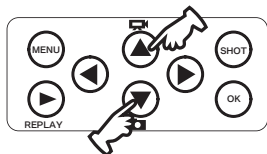


2. 操作パネルの“MENU”を押して設定メニュー
を表示させる



[タイムラプスの設定]

1. “▲” “▼” ボタンで「タイムラプス撮影」を選択し、“OK” ボタンを押す



※タイムラプス選択画面が表示されます。

2. “▲” “▼” ボタンで「標準」または
「TLビデオ」を選択します

※初期設定は“オフ”です。



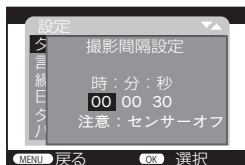
「標準」：選択した撮影モードの設定が適用されます。

「TL ビデオ」：設定した撮影間隔で写真撮影を行い、撮影された写真は一つの動画ファイル (AVI) として保存されます。

TL ビデオを選択すると、撮影モードは自動的に「ビデオ」になります。

「標準」「TL ビデオ」を選択すると撮影間隔時間の設定画面が表示されます。

3. 撮影間隔の設定をします



“▲” “▼” ボタンで数値を設定します。

“▶” ボタンで「時」「分」「秒」に移動します。
時間は 3 秒～ 23 時間 59 秒で設定できます。

4. “OK” ボタンを押す

※撮影間隔より「録画時間の長さ」の設定が長い場合、「録画時間の長さ」の設定が有効になります。

※タイムラプスでの撮影時にはセンサーは機能しません。

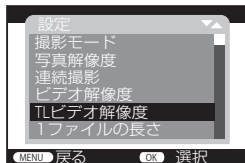
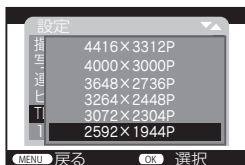
撮る

[TLビデオの解像度の設定]

「TLビデオ」を選択すると「TLビデオの解像度」の設定ができます。

1. “▲” “▼” ボタンで「TLビデオ解像度」を選択し、“OK” ボタンを押す

※解像度選択画面が表示されます。



2. “▲” “▼” ボタンで時間を設定し、“OK” ボタンを押す

※初期設定は“2592 × 1944P”です。

タイムラプス撮影を開始する

1. 電源スイッチを“ON”の位置に合わせる



2. 約 15 秒のカウントダウン後に画面が消え撮影モードに入ります

※前面の撮影モード確認 LED も赤で約 15 秒点滅します。

3. ケースを閉じます

5. 保存容量の目安

[静止画保存可能枚数の目安]

SD カード容量 解像度	8GB	16GB	32GB
20MP(5200 × 3900)	約 1200 枚	約 2500 枚	約 5000 枚
16MP(4608 × 3456)	約 1600 枚	約 3200 枚	約 6400 枚
12MP(4000 × 3000)	約 2100 枚	約 4300 枚	約 8600 枚
8MP(3264 × 2448)	約 3200 枚	約 6500 枚	約 13000 枚
5MP(2592 × 1944)	約 5000 枚	約 10000 枚	約 20000 枚
3MP(2048 × 1536)	約 8000 枚	約 16000 枚	約 32000 枚
1MP(1280 × 960)	約 21000 枚	約 42000 枚	約 84000 枚

※記録枚数は静止画のみの撮影目安であり、ご使用の環境、画像の内容等によって大きく変わります。

※上書き撮影設定をすると、SD カードの容量がいっぱいになると、古いファイルを削除して撮影を繰り返していきます。

[動画連続撮影時間の目安]

SD カード容量 解像度	8GB	16GB	32GB
3840 × 2160P	約 20 分	約 40 分	約 80 分
2688 × 1520P 20FPS	約 12 分	約 25 分	約 50 分
1920 × 1080P	約 30 分	約 60 分	約 120 分
1280 × 720P	約 50 分	約 100 分	約 200 分
1280 × 720P 60FPS	約 20 分	約 40 分	約 80 分
848 × 480P	約 60 分	約 120 分	約 240 分
720 × 480P	約 70 分	約 140 分	約 280 分
640 × 480P	約 90 分	約 180 分	約 360 分
320 × 240P	約 190 分	約 380 分	約 760 分

※記録時間は動画のみの撮影目安であり、ご使用の環境、映像の内容等によって大きく変わります。

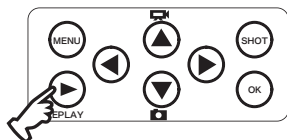
※上書き撮影設定をすると、SD カードの容量がいっぱいになると、古いファイルを削除して撮影を繰り返していきます。

1. 本体で見る

1. 電源スイッチを“TEST”の位置に合わせ
テストモードにする



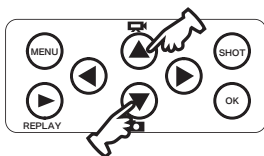
2. 操作パネルの“REPLAY”を押して再生モードにする



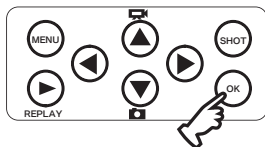
静止画は▶表示 解像度 記録されたファイル数



3. “▲” “▼” ボタンで撮影された写真と動画が撮影順に表示されます。



4. 動画が表示されたら“OK” ボタンを押すと再生を開始します。もう一度押すと一時停止します



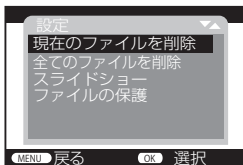
5. 再生モード画面で“REPLAY” ボタンを押すと、テストモードに戻ります

[撮影ファイルの編集]

再生モードで保存された映像の削除等ができます。

1. 再生モード中に“MENU” ボタンを押す

※設定画面が表示されます。



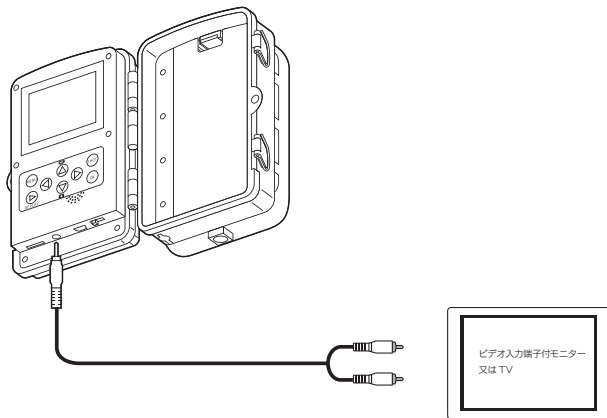
2. “▲” “▼” ボタンで選択し、“OK” ボタンを押す

- 「現在のファイルを削除」：選択されているファイルのみを削除。
- 「全てのファイルを削除」：保存されているすべてのファイルを削除。
- 「スライドショー」：保存されている静止画ファイルを順に表示。
- 「ファイルの保護」：ファイルの保護を設定すると上書きしません。
ファイルの解除をすると保護を解除します。

3. 再生モード画面で“REPLAY” ボタンを押すと、テストモードに戻ります

2. 外部モニターで見る

本機のビデオ出力端子と外部モニターを付属の AV ケーブルを接続します。
本機のモニターが消え外部モニターに表示されます。再生等の操作は“本体で見る”と同様に行ってください。



モニターの RCA ピンジャック
ビデオ入力端子に接続

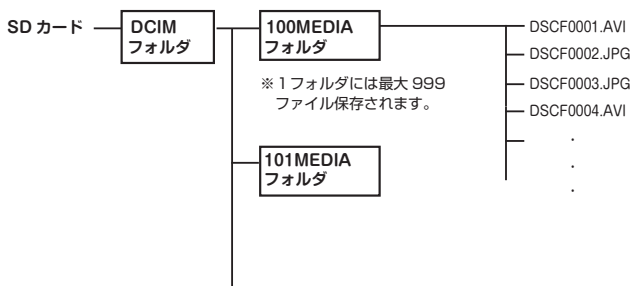
3. パソコンで見る (SD カード)

パソコンの動作環境

- ・ Windows 8.1/10 (32/64bit) がインストールされたパソコン。
- ・ Windows Media Player 等の A V I (H.264) 動画再生ソフトがインストールされていること。
(再生ソフトに関するお問い合わせはお受けできません)
- ・ USB2.0 インターフェースもしくは microSD/SDHC カードリーダーを備えていること。
- ・ それぞれの OS の推奨環境以上で動画再生でも十分な能力を持っていること。

フォルダ構成

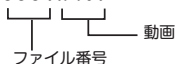
撮影が記録されている SD カード内のフォルダとファイルの構成は下記のとおりです。



ファイル名

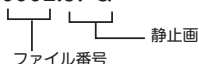
動画が記録されると下記のファイル名で保存されます。

DSCF0001.AVI



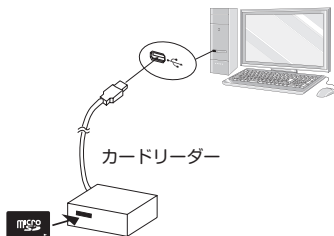
静止画が記録されると下記のファイル名で保存されます。

DSCF0002.JPG



見る

1. カードリーダーをパソコンに接続する



2. SD カードをカードリーダーに挿入する

※ microSD/SDHC を直接接続できるパソコンの場合は、カードリーダーは必要ありません。

3. “DCIM” フォルダがあるリムーバブルディスクを開く



4. “DCIM” フォルダを開く “MEDIA” フォルダが表示されます。



5. “MEDIA” フォルダを開く 保存されたファイルが表示されます。

※動画ファイルを開くと Windows Media Player 等の動画再生ソフトが立ち上がり、動画の再生が始まります。

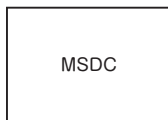
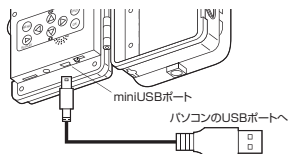


4. パソコンで見る (USB ケーブル)

1. 本体の microSD カードは挿入したままにする

2. 付属の USB ケーブルで本体とパソコンを接続する

- ※自動的に電源が入ります。
- ※このとき本体画面に「MSDC」と表示されます。
- ※パソコンにはリムーバブルディスクとして認識されます。



3. SD カードと同様に“DCIM”フォルダがあるリムーバブルディスクを開いてファイルを再生する

その他の設定

1. 電源スイッチを“TEST”の位置に合わせ テストモードにする

2. 操作パネルの“MENU”を押して設定メニューを表示させる

[言語の設定]

表示する言語を選択。

1. “▲” “▼” ボタンで「言語」を選択し、“OK” ボタンを押す

※設定画面が表示されます。

英語 / ドイツ語 / デンマーク語 / フィンランド語 / スウェーデン語 / スペイン語 / フランス語 / イタリア語 / オランダ語 / ポルトガル語 / 簡体中文 / 繁体中文 / 日本語 (初期設定)

2. “▲” “▼” ボタンで選択し、“OK” ボタンを押して設定する

[タイプスタンプの設定]

写真撮影をしたときに日時を記録します。

※パソコンで再生すると温度：華氏 / 摂氏も表示されます。

1. “▲” “▼” ボタンで「タイムスタンプ」を選択し、“OK” ボタンを押す

※設定画面が表示されます。

日時設定 (初期設定) / 日付 / オフ

2. “▲” “▼” ボタンで選択し、“OK” ボタンを押して設定する

[パスワードの設定]

設定変更などを制限するためにパスワードを設定することができます。
パスワードを設定を「オン」にするとテストモードへのアクセス時にパスワードの入力が必要となります。パスワードを忘れるとテストモードへは入れなくなりますので、必ず忘れないようにメモを保管してください。

1. “▲” “▼” ボタンで「パスワード設定」を選択し、“OK” ボタンを押す

※設定画面が表示されます。
オン / オフ (初期設定)

2. “▲” “▼” ボタンで選択し、“OK” ボタンを押す

3. 設定を「オン」にするとパスワード設定画面が表示されます

※ 4桁の数字またはアルファベットを入力してください。
※ “▲” “▼” ボタンで文字 / 数字を決めたら “▶” ボタンで右に移動する。
4つの文字 / 数字を決めたら “OK” ボタンを押す。

4. “OK” ボタンを押すとパスワードが設定されます

※再起動するとパスワード要求画面が表示されます。

その他の設定

[操作音の設定]

テストモードのキー操作音の ON/OFF を設定。

1. “▲” “▼” ボタンで「操作音」を選択し、“OK” ボタンを押す

※設定画面が表示されます。
オン (初期設定) / オフ

2. “▲” “▼” ボタンで選択し、“OK” ボタンを押して設定する

[シリアル番号の設定]

任意の4桁の番号とアルファベットでシリアル番号として設定できます。
シリアル番号はビデオや写真に記録されますので、複数台のカメラを設置した場合、どのカメラで撮影されたかが分かります。

1. “▲” “▼” ボタンで「シリアル番号」を選択し、“OK” ボタンを押す

※設定画面が表示されます。
オン / オフ (初期設定)

2. “▲” “▼” ボタンで選択し、“OK” ボタンを押す

3. 設定を「オン」にするとシリアル番号設定画面が表示されます

※ 4 桁の数字またはアルファベットを入力してください。
※ “▲” “▼” ボタンで文字 / 数字を決めたら “▶” ボタンで右に移動する。
4 つの文字 / 数字を決めたら “OK” ボタンを押す。

4. “OK” ボタンを押すとシリアル番号が設定されます

[バージョン情報]

本体ファームウェアのバージョン情報が表示されます。

[設定リセット]

設定値を工場出荷状態に戻します。

1. “▲” “▼” ボタンで「設定リセット」を選択し、“OK” ボタンを押す

※設定画面が表示されます。
はい / いいえ (初期設定)

2. “▲” “▼” ボタンで選択し、“OK” ボタンを押して設定する

「はい」を選択すると工場出荷状態に戻ります。

主な仕様

- ・イメージセンサー：1/2.5 CMOS
- ・写真解像度：20MP/16MP/12MP/8MP/5MP/3MP/1MP
- ・ビデオ解像度：3840 × 2160P/2688 × 1520P 20FPS
1920 × 1080P/1280 × 720P
1280 × 720P 60FPS/848 × 480P
720 × 480P/640 × 480P/320 × 240P
- ・画面サイズ：2.4 インチ TFT カラー液晶
- ・ファイル形式：JPG/AVI
- ・記録媒体：microSD カード Class6 以上最大 32GB
- ・赤外線 LED：46 個（不可視光）
- ・赤外線到達距離：最大約 20 m ※ガラス越しでは正常に動作しません
- ・PIR 検出距離：最大約 20 m (25℃) ※気温等により変化
- ・PIR 検出角度：最大約 120°
- ・トリガー時間：約 0.5 秒
- ・トリガー間隔：5 秒～60 分
- ・待ち受け時間：最大約 12 ヶ月：単三アルカリ乾電池 8 本使用時
(使用環境、設定状況で大幅に変化)
- ・防塵・防水：IP54
- ・TV 出力：コンポジット出力
- ・電源：単三乾電池 8 本または 4 本
- ・サイズ：約 83(W) × 136(H) × 62(D) mm (突起部除く)
- ・質量：約 323g(乾電池含まず)

保証規定

本製品は、弊社において厳重な品質管理のもとに検査され合格したものです。万一ご購入後 1 年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、弊社が責任をもって無償修理いたします。

なお、次に記載した場合の故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

- ①使用上の誤り、不当な改造や修理などによる故障および損傷。
- ②ご購入後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
- ③火災、地震、水害、異常電圧、指定外の電源、電圧、周波数使用およびその他の天変地異などによる故障および損傷。
- ④本保証書のご提示がない場合。
- ⑤本保証書の所定事項が未記入、あるいは字句が書き換えられた場合。

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。

- 修理を依頼されるときはまず、操作方法等に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常がある時は修理依頼してください。
- その際は問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の再現方法についてできるだけ詳しくお書きください。
- 修理に出す前に、お客様が設定したデータをお控えください。修理内容によっては、全てのデータが消失される場合があります。
- 本機の不具合により発生した損害、被害につきましては、弊社は一切の責任を負いませんので、ご了承ください。
- 必要なファイルは必ずお客様にてバックアップをお取りください。お預かりしたデータの保証はいかなる場合でもできません。
- 保証は不具合が発生した製品を販売店にお持込いただくか、弊社宛てに送付していただき、修理もしくは代品との交換によるセンドバック方式となります。
- 出張修理は行っていません。
- 保証の範囲は商品のみ保証となり、取り付けや商品を使用する事により発生した商品以外への損害についての保証は一切いたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 修理期間中の代替機の貸し出しは行っていません。

※あらかじめご承知いただきたいこと

- ・修理の時、一部代替品を使わせていただくことや修理品に変わって同等品と交換させていただくことがあります。
- ・出張による修理は一切致しませんので、あらかじめご了承ください。
- ・本取扱説明書の内容は、機能改善のため予告なく変更する場合があります。

※ SD カード、固定用ベルト、AV ケーブル、USB ケーブルは消耗品につき初期故障（ご購入後 10 日間）のみ保証します。

【サポート問い合わせ先】

株式会社 エフ・アール・シー サービス課

TEL : 042-793-7746 土日・祝日及び弊社休業日を除く【10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00】



品質保証書

本製品は、弊社において厳重な品質管理のもとに検査され、それに合格したものです。万一、ご購入後 1 年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、弊社が責任をもって無償修理いたします。

修理の際には、本製品をご購入いただいた販売店に、必ず本保証書をご持参の上ご依頼ください。本保証書のご提示のない場合には全額有償となりますので、本保証書は大切に保存してください。

■保証期間中は：

保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参いただくか、弊社宛てに症状をお書き添えの上送付願います。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは：

お買い求めの販売店、または弊社サービス課にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

商品名	レンジャーカメラ			NX-RC800		
保証期間	1年間 (消耗品除く)	購入年月日		年	月	日
お客様	ご住所					
	TEL.					
	お名前					
販売店	住所					
	店名					
	(印)					

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

FRC CO.,LTD.

株式会社エフ・アール・シー

〒194-0037 東京都町田市木曾西 2-3-8

URL <https://www.frc-net.co.jp>



4-615-001